



# 2015 紀の国 わがやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判(副)委員長
氏名： 谷口 和久
確認： <input checked="" type="radio"/> 済

## バレーボール競技 戦評用紙

種別	精神障害者の部
----	---------

会場	田辺市体育センター
----	-----------

平成 27 年 10 月 25 日 日 曜日 第 2 日目

A コート 第 7 試合

1回戦  
 交流試合  
 準決勝  
 3位決定戦  
 決勝

◎試合結果

勝利チーム	<table border="0"> <tr><td>25</td><td>—</td><td>20</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>7</td></tr> <tr><td> </td><td>—</td><td> </td></tr> </table>	25	—	20	25	—	7		—		<table border="1"> <tr><td>0</td><td>和歌山県</td></tr> </table>	0	和歌山県
25		—	20										
25		—	7										
	—												
0	和歌山県												
名古屋市 2													
都道府県 指定都市名		都道府県 指定都市名											

### 【審判員】

主 審： 山本 紋                      副 審： 田和 憲司

記録員： 前地 悠佳里              A・S： 辻村 美月・那須 正樹

### 【戦 評】

記載者： 塩寄哲也 (戦評委員)

交流試合第2試合は、交流試合第1試合をフルセットで勝ち上がった名古屋市と地元和歌山県の対戦となった。

お互い好プレーも見せるが、随所にミスも見られ流れがつかめないまま20-14と名古屋市がリードして終盤を迎える。和歌山県はタイムアウト後メンバーチェンジで2番白井選手がコートに入ってから4連続ポイントを上げ追い上げたが、名古屋市も1番河合選手のサーブポイントなどで押し切り、25-20と第1セットを名古屋市が先取した。

第2セットは序盤、名古屋市4番甲斐原選手のサーブや1番河合選手のスパイクで8連続ポイントを上げるなど有利に試合を進めた。和歌山県チームもメンバーチェンジやタイムアウトで流れを変えようとするが、勢いに乗る名古屋市が効果的に連続ポイントを重ね25-7と第2セットも連取した。点差はついたが地元和歌山県も粘りのレシーブを見せるなど健闘を見せた。

150

300

450